



リレーエッセイ

ハードルを越えて

44

叶 亜寿香さん
(鹿児島市)

私はハートピアかごしま市内にある、鹿児島県視覚障害者団体連合会に勤務しています。仕事は、事務職員として団体の活動全般に関わり、会長や役員業務の調整を任されています。会員はもちろん関係先（県内自治体や加盟団体、他県団体等）との連携もあり、パソコンを利用したの文書作成（活字・点字）も行っています。また、会員からのパソコンやスマートフォンの使用方法等についての電話相談、来客対応等も行っています。私自身が全盲ということもあり、会員に寄り添ったお仕事ができているのではないかと考えています。現在の仕事にはパソコンの使用が不可欠であり、音声読み上げ機能を活用し、メールの確認や文字入力も自分で行っています。

鹿児島盲学校に通っていた時に、パソコンを用いた文字入力方法を教わったことがきっかけでパソコンに興味を持つようになりました。それまでの文書のやりとりは点字が全てだったので、パソコンを使うことで「点字を介さずにやりとりができるんだ」と感動したことを覚えています。盲学校卒業後も、自分に合った環境で好きなことを学びたいということと、どんな仕事もPCを使えた方が良く考え、情報処理を学べる県外の視覚・聴覚障害者向けの大学に進学しました。

大学では、パソコン等での事務作業の基礎を学ぶ一方で、寮生活で自炊など身の回りのことは自分でやるようになりました。その経験が、一人で生活する力を身に付けることに繋がったと思います。心配しつつも、県外へ進学させてくれた両親には感謝しています。

大学卒業後は、自分が興味のある職に就こうと考え、パソコンを使用する事務職のみならず、好きな音楽に携われる仕事も含め、幅広く就職活動をしました。視覚障害者がどのように仕事をしているか知らない企業の方も多かったため、許可をいただいた上でパソコンを持参し、メール作成や検索の仕方などを実践するようにしていました。また、できないことやサポートして欲しいことなど自分自身を分析し、具体的に伝えるようにして、企業の方の理解が得やすくなるよう心がけ、縁あって今の勤務先に就職しました。周りの方にサポートいただきつつ、楽しくお仕事をさせていただいています。

働き始めて10年目。両親や周囲の方々、特に社会人としてそれぞれの世界で働いている視覚障害者の先輩方に助けられ、刺激を受けて成長してこられたと思います。そのおかげで壁を感じずに生活してきました。これからの壁をどう越えられるかは分かりませんが、周囲の協力やデジタル化の進歩のおかげで鹿児島にも事務職で働く視覚障害者がいること、視覚障害者も事務職で働けるということを発信していきたいと思っています。



文書を音声で聞き、左手の点字ディスプレイで点字変換を行います。入力文字の漢字への変換も、音声で確認して行います。



同僚「叶さんは、誰にでも丁寧に接して下さり、仕事が正確なので、とても頼りになります。」

鹿児島県視覚障害者団体連合会

〒890-0021 鹿児島市小野1丁目1-1 ハートピアかごしま3階
TEL: 099-228-6712 FAX: 099-228-6712

